



「勝つのはたいがい 勝てると思っている 人間だ」

あたたかく
たくましく
おおらかに

負けたと思ったら、負けている。
やめようかなと思ったら、もうできない。
勝ちたい、でも勝てないかなと思ったら、まず勝てない。
ダメかもしれないと思ったら、もうダメだ。
世間に出たら『成功』は気持ち次第だ。
心構え一つだと、きっと分かる。
絶対勝つと思ったら、勝つ！
高く昇ろうと思ったら、高い所を思え。

人生の戦いでは、必ずしも強い者と速い者が勝つわけではない。
勝つのはたいがい、勝てると思っている人間だ。

これはプロゴルファー、アーノルド・ダニエル・パーマーの言葉です。みなさんには傘のロゴマークとして馴染みがあるかもしれませんが、今回は高校生のみなさんだからこそ心に残してほしいと思って、この言葉を紹介します。

高校生の時期は人生の中できっと一番可能性とチャンスに溢れている時期です。高校の勉強や部活を始めたばかりの1年生は、あと2年。どこまでだって高みに行くチャンスはあります。2年生は高校生として1年間過ごしてきたからこそ、戦略を持って部活にも勉強にも取り組める時間があと1年も残されている。3年生の進学先はまだ何も決まっていません。まだ何も終わっていません。本番までまだ時間はあります。そして、みなさんが高校を卒業してもまだ10代。人生100年とは言わなくても、残された時間は70年、80年年近くもあります。何をやるにもたくさんのチャンスがあります。今、私が思い返してみても、高校生時代は希望と万能の時代だったのではと思います。それほど、今からなら何にだってなれるし、どこにだって行けるし、どういう人生の選択だってできると思います。もうダメかもしれないと思うのはまだ早いですよ。

最近第一ボタンをはずしている人をみかけます。附属高校の一員であるなら、附属高校のシンボルである制服をきちんと着てください。心が乱れ、いい加減になってくると身だしなみも乱れてきます。つまり、身だしなみが崩れた人は全てが崩れていきます。また、5月14日(月)～夏服への移行期間とします。合い服、夏服もきちんと着こなしましょう。